

## ●テーマ 研究題目「統計学で見分ける偶然・必然」

担当者 田中敏陽

<<研究の内容・流れ>>

- ① 日常の様々な現象の中から、テーマ(=日々の出来事の中で疑問に思っている事)を選ぶ。
- ② その事柄が「偶然」に起こった事なのか、「必然」で起こったことなのかを、自分なりに論理的に考えて予測する。
- ③ テーマに関するデータを集め、数学Iで学習した「平均」・「度数分布」・「分散・標準偏差」から出発し、「区間推定・信頼区間」・「カイ( $\chi$ )<sup>2</sup>乗検定」・「 $t$ 検定(対応なし・対応あり)」・「分散分析」という統計学の手法を用いてデータを分析する。
- ④ 最初の予測との違いを比較し、どの部分が正しくて、どの部分が違っていたのかを考え、思い込み・先入観を含めた人間の判断課程について考察する。

<<テーマの趣旨>>

日常の感覚を、データで冷静に分析するのが目的です。普段「？」と思っている事柄があれば参加して、自分の目で直に分析してみてください。